

平成24年度予算について

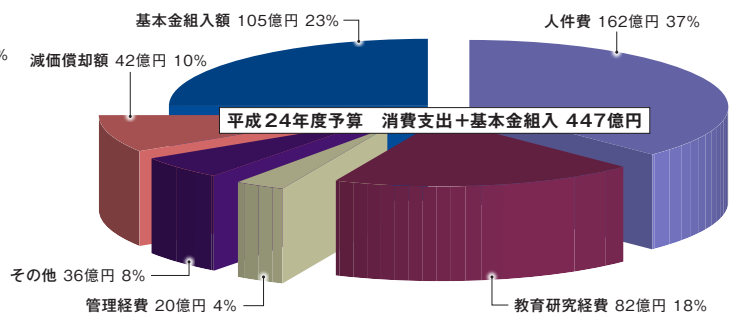
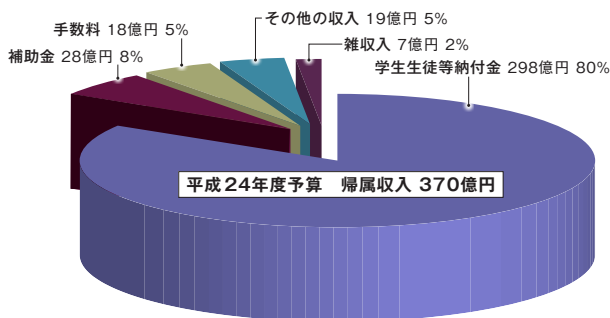
平成24年3月19日開催の理事会、評議員会にて平成24年度当初予算が承認されました。ここでは平成24年度予算の概要を紹介します。

創立125周年という節目の年である平成24年度はさまざまな周年事業関連行事だけでなく、未曾有の被害となった東日本大震災の復興支援、そして本号でも特集している国際化、キャリア教育、就職支援の強化等、総合大学としての利点を活かした幅広い教育・研究活動を推進してまいります。その取り組みの数字的な裏付けになるのが平成24年度予算です。

予算とはどのようなものか

東洋大学をはじめとした私立大学(私立学校)は年度の始めに「予算」を編成し、その「予算」に基づいて一年間の教育・研究活動を行います。この「予算」のおかげでその年度の収入見通しや支出予定を計算することができ、収支を踏まえた計画的な大学運営ができるようになります。

「予算」やそれに基づいた一年間の活動の記録は「学校法人会計基準」等の決まりに基づいて処理されます。年度の終わりには「決算」として「予算」と対比しながら、活動内容を会計の目線で検証することができるようになります。



News Release



株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.

11-D-0811

2012年1月11日

株式会社日本格付研究所 (JCR) は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

学校法人東洋大学 (証券コード: -)

【据置】

長期優先債務格付
格付の見直し AA
安定的

■格付事由

- 井上円了が設立した私立哲学館を始まりとし、創立125周年を迎える学校法人。11年4月に学校法人京北学園を合併し、1大学・4高等学校・1中学校・1幼稚園の総合学園体制となった。メインキャンパスは東京都文京区白山に位置する。「哲学教育」、「国際化」、「キャリア教育」を柱に、学力と人間力を兼ね備えた人材の育成を目指している。
- 本学は地の利のある白山地域への集約化を進めるとともに、板倉、川越、朝霞の郊外キャンパスでは特色

東洋大学の財政状況はどのような状況か

東洋大学の予算書、決算書はさまざまな教育研究情報とともにホームページに掲載されており、広く公開されています。

財政の状況は第三者の評価を受けており、平成24年1月11日には、株式会社日本格付研究所 (JCR) より、4年間連続で長期優先債務格付の「AA」(ダブルAフラット)の格付を取得しました。格付の見直しは「安定的」とされています。会計というわかりづらいイメージがありますが、このように第三者の目を通した見方からもその健全性を確認することができるようになっていきます。

平成24年度予算は具体的にはどのような内容か

創立125周年である本年度予算は、記念式典をはじめ、幅広い活動を予定しています。その中でも、本号で取り上げている国際化、キャリア教育、そして本学の特色でもある哲学教育を3つの柱に据えています。

学生の教育環境向上のための施設設備の整備、陸上競技部や硬式野球部に代表される学生スポーツ活動の推進、国際的に評価されているバイオ・ナノエレクトロニクス研究センターやPPP (公民連携)の取り組みなどの特色ある研究活動にも力を入れた予算となっています。

長期的に安定した財政を確保すべく、将来を見越した予算編成を行っています。

グローバル人材の育成に向けた3つの柱

哲学教育 【44,000千円】

- 「国際哲学研究センター」の推進
- 創立125周年を契機とした本学の「哲学」の見直し

国際化 【357,076千円】

- 「TOEICスコアと連動した英語教育及び短期留学支援」開始
- 職員国際化研修の推進

キャリア教育 【210,494千円】

- グローバル・キャリア教育センター
- 「キャリア形成科目」の推進
- きめ細かい支援講座

